

大野市教育理念

明倫の心を重んじ
育てよう大野人

【学校教育目標】

協同的で探究的な学びによって
自らを高めていく子を育てよう

校訓

愛・誠・健

めざす児童像

- ★課題を見つけ、課題に挑戦し、ねばり強く丁寧に取り組む児童
- ★自分の思いや「わからなさ」を積極的に伝え、他の意見を聴き、共に学びを深めようとする児童
- ★学び合いの中で、自らを高め、その高まりを実感できる児童

【研究主題】

『つなぐ』学び

フリートークが子どもを変える

～つなげる 広げる 深める つづける～

めざす教師像

- ★協同的で深まりのある授業の実現をめざし、「挑戦」と「協働」に取り組む教師
- ★一人一人の心に寄り添いながら、愛情をもって根気強く児童に対する教師
- ★「気づき」「広がり」「深まり」が感じられる魅力ある教育活動を展開する教師

<授業>

- ◎協同的な学びにより、一人一人の学びが保障されている。
- ◎一人一人の思いや考えに寄り添い、誰もが安心して学ぶことができる。
- ◎自ら学びたい、自分たちで進めたいという高い意欲を実現させる。
- ◎教師は児童の学びを支援するファシリテーターに徹し、常にベストな役割を追求する。

【具体的な取組】

- 単元は、一人学びと全体での共有を往復する構成とし、課題は児童の気づきや思いを活かして設定する。
- 児童の声をつなぎ、タイミングをのがさず学びが深まるような繰り返しや言葉がけをする(教師はファシリテーター)。
- フリートークを授業の基本形態とし、一日1授業はフリートークに特化した授業を行う。
- フリートークとタブレットの相乗効果が期待できる創造的な活用挑戦する。
- 「つなぎタイム」でフリートークの素地を養う。

◎授業に主体的に取り組んでいる児童 80%

○協同的な学びができた児童 90%

※各教科の関連する単元の中で、SDGsを積極的に取り上げる。

<集団づくり>

- 規律ある中で、個々の思いが尊重され、自治の力がある。
- 一人一人の個性を認め合い、共に高め合う。
- 協同的に学び、個が育つ。

【具体的な取組】

- よりよい生活や学級について話し合い、自分に関わることとして捉えさせる。
- 低学年は、係・当番・生活班等の小集団活動の中で、自己実現の場を設定する。高学年は、様々な活動における学びを活かして、学級から学校、さらに地域へと活動の場を広げて実践を深める。
- 「みんなでそろえる！心がそろう！下庄っ子」をもとに「ニコリペコリ」「おくドン」「全力○○」など基本的な行動を身に付ける。
- 毎月の集会活動において、異学年での意見の伝え合いの場を設ける。

- みんなで何かをするのは楽しい児童 90%
- 集団活動の中で、伝え合いができた児童 80%

<心と体の健康>

- 自他の生命や人権を尊重する心と態度を育てる。
- 協同的に問題を解決することで、一人一人に自信が生まれ、突破力が育つ。

【具体的な取組】

- 心をつなぐ「ニコリペコリあいさつ運動」を進める。
- 「しょうちゃんは元気？」を実施し、児童の抱える問題を早期に把握し、その解決に努める。
- 心身の健康の保持増進に関心を持たせ、基礎的な体力と気力の向上を図る。

- 学校が楽しい児童 85%
- 「ニコリペコリ」あいさつができた児童 90%

<家庭・地域との連携>

- 学校が、家庭・地域に信頼・応援される。
- 家庭・地域と共に、子どもを守り育てる。

【具体的な取組】

- 学校公開や「たより」等を通して、学校と家庭・地域との共通理解を図る。また、SDGsの普及にも貢献する。
- 週末読書やファミリー読書など、家庭での読書を推進する。
- 定期的に行う各種チェック表を通して、家庭学習や生活習慣(情報モラル含)の定着を図る。

- 学校と共通理解のもと子どもを育てている家庭 90%
- 家庭で週末などに読書をしている児童 80%

教職員が働きやすい職場

- ・自己の業務改善の推進(業務と研修を分別した自律的タイムマネジメント)
- ・組織的業務改善の手立て(教科担任制で専門性のある質の高い授業、スタンドアップ会議で授業準備時間の確保)
- ・各担当別の引き継ぎ書を活かした段取り力の伸長